

第68回日本公衆衛生学会総会（奈良県・奈良市）のまとめ

1 学会長・副学会長・顧問

名誉学会長	荒井 正吾	奈良県知事
名 誉 顧 問	仲川 げん	奈良市長
学 会 長	車谷 典男	奈良県立医科大学地域健康医学講座教授
副 学 会 長	松本 善孝	奈良市保健所長
	武末 文男	奈良県福祉部健康安全局長
	塩見 俊次	奈良県医師会長
顧 問	吉岡 章	奈良県立医科大学学長
	東井 進	奈良県会計局総務課長
	浅野 恵子	奈良市会計管理者

2 開催日

平成21年10月21日（水）～23日（金）

3 開催地

奈良県奈良市

4 会場

奈良県文化会館

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

TEL：0742-23-8921 FAX：0742-22-8003

奈良県新公会堂

〒630-8212 奈良県奈良市春日野町101

TEL：0742-27-2630 FAX：0742-27-2634

5 参加者数

有料参加者数 3,498人

No.	職 種 別	人 数	%	No.	都道府県	人 数	%
1	医師：行政系	194	10.2	1	東京都	313	16.5
2	医師：教育・研究系	261	13.8	2	大阪府	197	10.4
3	医師：医療系	30	1.6	3	奈良県	118	6.2
4	医師：その他	17	0.9	4	愛知県	88	4.6
5	歯科医師	46	2.4	5	神奈川県	76	4.0
6	薬剤師	36	1.9	6	兵庫県	73	3.8
7	獣医師	10	0.5	7	埼玉県	66	3.5
8	保健師	597	31.5	8	京都府	53	2.8
9	助産師	12	0.6	9	千葉県	52	2.7
10	看護師・准看護師	66	3.5	10	福岡県	50	2.6
11	歯科衛生士・歯科技工士	15	0.8	11	北海道	49	2.6
12	診療放射線技師・診療エックス線技師・臨床検査技師・衛生検査技師	32	1.7	12	岡山県	45	2.4
13	管理栄養士・栄養士	107	5.6	13	茨城県	41	2.2
14	理学療法士・作業療法士・視能訓練士・言語聴覚士	39	2.1	14	富山県	32	1.7
15	養護教諭・学校保健及び体育系	28	1.5	15	宮城県	31	1.6
16	健康教育系	64	3.4	16	栃木県	31	1.6
17	社会科学系	50	2.6	17	熊本県	31	1.6
18	衛生統計系	18	0.9	18	山梨県	28	1.5
19	生物・物理・化学・工学・環境系	44	2.3	19	静岡県	28	1.5
20	その他	157	8.3	20	その他	412	21.7
21	無回答	75	4.0	21	無回答	84	4.4
小 計		1,898	100.0	小 計		1,898	100.0
不 明		1,600		不 明		1,600	
合 計		3,498		合 計		3,498	

6 総会・特別行事等

【第1日 2009年10月21日（水）】

学会長講演 10:50-11:40

(奈良県文化会館 国際ホール)

アスベスト問題から学ぶ公衆衛生

演者：車谷 典男（奈良県立医科大学地域健康医学講座）

座長：大井田 隆（第69回日本公衆衛生学会総会会長，日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

記念講演 9:50-10:50

(奈良県文化会館 国際ホール)

万物共生のこころ—奈良・東大寺より—

演者：上野 道善（東大寺管長）

座長：松本 善孝（奈良市保健所）

2009年総会 12:45-13:40

(奈良県文化会館 国際ホール)

特別講演1 13:45-14:45

(奈良県文化会館 国際ホール)

健康危機に立ち向かう公衆衛生のちから

演者：喜多 悦子（日本赤十字九州国際看護大学学長，ジョンズホプキンス公衆衛生大学院上級研究員）

座長：岸 玲子（北海道大学医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野）

メインシンポジウム 15:00-17:30

(奈良県文化会館 国際ホール)

健康をまもる社会基盤の再構築—その糸口はどこか—

座長：車谷 典男（第68回日本公衆衛生学会総会会長）

實成 文彦（日本公衆衛生学会理事長）

演者：「健康格差—AGES プロジェクトに見る現状と生成プロセス，そして対策の糸口」

近藤 克則（日本福祉大学健康社会研究センター）

「仕事あつての健康，健康あつての仕事」

圓藤 吟史（大阪市立大学大学院医学研究科産業医学分野）

「我々はどうのような社会を望んでいるのか，その理念は何なのか」

松田 晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）

「地域における自殺対策の推進と社会基盤の再構築」

本橋 豊（秋田大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座）

サテライトシンポジウム1 15:10-17:10

(奈良県新公会堂 能楽ホール)

公衆衛生分野でのリスクコミュニケーション—その方向性を探る—

座長：今村 知明（奈良県立医科大学健康政策医学講座）

丸井 英二（順天堂大学医学部公衆衛生学教室）

演者：「国立感染症研究所感染症情報センターにおけるメディアとの対話の試み」

岡部 信彦（国立感染症研究所感染症情報センター）

「食品事件でのリスクコミュニケーション」

尾花 尚弥（株式会社三菱総合研究所社会システム研究本部政策科学研究グループ）

「医療サービスに関連するリスクコミュニケーション」

康永 秀生（東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座）

「リスクをどのように報道するのか—報道側の立場から」

前村 聡（日本経済新聞社編集局社会部）

新型インフルエンザシンポジウム

18:00-20:00（奈良県文化会館 国際ホール）

座長：金成由美子（福島県保健福祉部）

角野 文彦（滋賀県健康福祉部）

演者：「総論：世界の状況とわが国の対応」

押谷 仁（東北大学大学院医学研究科）

「疫学調査から明らかになったこと」

砂川 富正（国立感染症研究所）

「地方自治体の対応」

前田 秀雄（東京都福祉保健局）

「保健所の対応」

荒田 吉彦（北海道旭川市保健所）

公衆衛生行政研修フォーラム1 15:00-17:00

(奈良県文化会館 小ホール)

輸入人畜共通感染症—新たに追加された4類感染症に注目する—

座長：西山 利正（関西医科大学公衆衛生学講座）

角野 文彦（滋賀県健康福祉部健康推進課）

演者：「人畜共通感染症の概略とQ熱について」
 福士 秀人（岐阜大学応用生物科学部獣医
 微生物学研究室）
 「ダニ類介在性感染症の発生動態と今後の
 対応」
 高田 伸弘（福井大学医学部病因病態医学
 講座）
 「最近の昆虫媒介ウイルス感染症の動向—
 アルファウイルスとフラビウイルス—」
 高崎 智彦（国立感染症研究所ウイルス第
 一部）
 「リッサウイルス感染症」
 井上 智（国立感染症研究所獣医科学部）

地衛研フォーラム 15：00-17：00
 （奈良県文化会館 集会室A・B）

麻疹排除（2012年）計画に向けた保健所、地衛研、
 感染研の果たす役割
 座長：多屋 馨子（国立感染症研究所感染症情報
 センター）
 田中 智之（堺市衛生研究所）
 演者：「麻疹排除の現状と麻疹サーベイランス体
 制について」
 駒瀬 勝啓（国立感染症研究所ウイルス
 第3部）
 「堺市における麻疹全数把握事業と麻疹対
 策委員会の活動」
 片桐 真二（堺市医師会、(医)医真会か
 たぎり小児科）
 「地方衛生研究所の果たす役割について」
 平良 勝也（沖縄県衛生環境研究所）
 「麻疹排除に向けた保健所の役割」
 本多めぐみ（茨城県竜ヶ崎保健所）

日本学術会議・日本公衆衛生学会共催市民公開シン
 ポジウム

18：00-20：00（奈良県文化会館 小ホール）
 社会格差と健康—公衆衛生の重要課題の対策に向け
 て—
 座長：近藤 克則（日本福祉大学）
 岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科
 公衆衛生学分野，日本学術会
 議会員）
 演者：「社会格差と健康の「確固たる事実」と対
 策；WHO 健康の社会的決定要因委員会最
 終報告」
 橋本 英樹（東京大学大学院公共健康医
 学専攻）

「社会格差に視点を置いた地域保健活動」
 中条 桂子（京都市山科保健所母子・精神
 保健係）
 「社会経済的環境と健康に関する国際比較
 —心理社会的ストレスと健康リスク行動の
 役割—」
 関根 道和（富山大学）
 「健康影響評価—社会格差と健康の対策に」
 藤野 善久（産業医科大学公衆衛生学教室）
 指定発言：「日本公衆衛生学会の対応」
 川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科
 精神保健学分野）

教育講演1 13：45-14：45

（奈良県文化会館 小ホール）
 食事摂取基準2010—公衆栄養における活用の基礎理
 論—
 演者：佐々木 敏（東京大学大学院医学系研究科
 公共健康医学専攻社会予防疫
 学分野）
 座長：伊達ちぐさ（奈良女子大学生生活環境学部食
 物栄養学科）

教育講演2 14：00-15：00

（奈良県新公会堂 能楽ホール）
 明日からの地域保健活動に役立つメンタルヘルス
 —身近な事例や対応を中心に—
 演者：夏目 誠（大阪樟蔭女子大学大学院人間
 科学研究科）
 座長：川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科）

ランチョンセミナー1 11：50-12：40

（奈良県文化会館 小ホール）
 予防医学に牛乳・乳製品の第3次機能を利用する
 座長：山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合
 研究部社会医学講座）
 演者：上西 一弘（女子栄養大学栄養生理学研究
 室）
 〔社団法人日本酪農乳業協会〕

ランチョンセミナー2 11：50-12：40

（奈良県文化会館 集会室A・B）
 身体活動計を用いた新しい健康づくり：群馬県中之
 条町での取り組み
 座長：横地 裕（株式会社スズケンケンツ事業部
 研究開発課）
 演者：青柳幸利（東京都老人総合研究所（東京都
 健康長寿医療センター）老化制

御研究チーム)
〔株式会社スズケン〕

【第2日 2009年10月22日(木)】

特別講演2 9:00-10:00

(奈良県文化会館 国際ホール)

環境政策と公衆衛生—古典を読み現場に学ぶ—

演者:宮本 憲一(元滋賀大学学長)

座長:高野 健人(東京医科歯科大学大学院健康推進医学)

パネルディスカッション 15:00-17:30

(奈良県新公会堂 能楽ホール)

地域医療を立て直す知恵と技

座長:吉田 修(奈良県地域医療等対策協議会, 奈良県立医科大学前学長)

宮下 和久(和歌山県立医科大学医学部衛生学教室)

演者:「地域医療を立て直す知恵と技—ヘルスプロモーション理念に基づいて—」

檀本 真聿(愛媛大学医学部附属病院医療福祉支援センター)

「みんなで守ろう日本の医療—全員参加の地域医療を目指して—」

邊見 公雄(赤穂市民病院, 全国自治体病院協議会)

「地域医療を守りたい—住民としてできること—」

丹生 裕子(兵庫県立柏原病院の小児科を守る会)

「地域医療の再生」

中山 鋼(厚生労働省医政局指導課救急・周産期医療等対策室)

「まちづくりと保健・医療・介護制度」

荒井 正吾(奈良県知事)

指定発言:塩見 俊次(日本医師会理事, 奈良県医師会会長)

奨励賞受賞講演 13:30-15:00

(奈良県文化会館 集会室A・B)

長期コホートによる脳卒中発症への高血圧の寄与の推移に関する研究

座長:石川 善紀(大阪府立健康科学センター)

演者:今野 弘規(大阪大学大学院公衆衛生学)

地域高齢者の運動プログラムの実践を通じた介護予防事業の推進に関する研究

座長:新野 直明(桜美林大学大学院老年学)

演者:植木 章三(東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科)

保健所による市町村におけるセーフコミュニティ活動の支援に関する実践的研究

座長:岸本 泰子(島根県松江保健所)

演者:反町 吉秀(青森県上十三保健所)

サテライトシンポジウム2 10:05-12:05

(奈良県文化会館 国際ホール)

健康影響が懸念される新たな環境変異を予見する

座長:小泉 昭夫(京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野)

熊谷 信二(大阪府公衆衛生研究所衛生化学部)

演者:「内分泌かく乱化学物質のリスク研究と公衆衛生」

遠山 千春(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター健康環境医工学部門)

「難分解性有機フッ素化合物による環境汚染と健康影響」

原田 浩二(京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野)

「蔵王の樹氷の長期観測—越境大気汚染の可視化—」

柳澤 文孝(山形大学理学部地球環境学科)

「大気汚染の健康影響の新たな課題:微小粒子とオゾン」

島 正之(兵庫医科大学公衆衛生学教室)

サテライトシンポジウム3 10:05-12:05

(奈良県新公会堂 能楽ホール)

連携で地域の公衆衛生を強化する—生活習慣病対策への提言—

座長:中原 俊隆(京都大学大学院医学研究科健康政策国際保健学)

山田 全啓(奈良県郡山保健所)

演者:「健康なまちづくりと特定健診・特定保健指導」

中川 昭生(島根県益田保健所)

「中核市及び保健所政令市における地域保健対策に果たす保健所の役割」

伊地智昭浩(姫路市保健所)

「今, 求められている地域連携体制構築とは・・・」

山中 朋子(青森県中南地域県民局地域健康福祉部保健総室(弘前保健所))

「地域連携における行政保健師の果たす役割」

成木 弘子（国立保健医療科学院）

指定発言：「今、改めて連携を考える」

塚原 太郎（厚生労働省大臣官房）

サテライトシンポジウム4 13：30-15：30

（奈良県文化会館 小ホール）

社会を支える高齢者の能力と役割

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

甲斐 一郎（東京大学大学院医学系研究科
公共健康医学専攻老年社会科学分野）

演者：「地域在宅高齢者の社会的自立の現状」

岡本 希（奈良県立医科大学地域健康医学教室）

「地域在住高齢者の機能的健康の保持増進の要件—公的サービスについて」

安田 誠史（高知大学医学部公衆衛生学教室）

「地域高齢者の社会活動およびボランティア活動に関連する要因」

岡本 秀明（和洋女子大学生活科学系）

「高齢者ボランティアの役割と意義」

芳賀 博（桜美林大学大学院老年学研究科）

シンポジウム1 10：05-12：05

（奈良県文化会館 小ホール）

難病患者を地域で支える医療・保健・福祉を強化する

座長：城島 哲子（奈良県立医科大学地域看護学講座）

黒田 研二（大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科）

演者：「難病ネットワークの構築～中核市保健所の取り組み」

根津 智子（奈良市保健所）

「障害者自立支援法の重度訪問介護サービスと医療的ケアの普及のために」

川口有美子（日本ALS協会，NPO法人
ALS/MNDサポートセンターさくら会）

「ALS等在宅療養者の療養環境の課題と難病の保健活動」

小西かおる（昭和大学保健医療学部看護学
科地域・在宅看護学）

「保健所における重症難病患者の在宅支援」
高奥 幸枝（京都府丹後保健所）

シンポジウム2 13：30-15：30

（奈良県文化会館 国際ホール）

がん死亡率20%減少を実現する

座長：祖父江友孝（国立がんセンターがん対策情報センターがん情報統計部）

津熊 秀明（大阪府立成人病センター調査部）

演者：「我が国のがん対策の動向」

高岡 志帆（厚生労働省健康局総務課がん対策推進室）

「わが国の院内がん登録の現状と課題」

西本 寛（国立がんセンターがん対策情報センター）

「神奈川県のがん対策—たばこ対策と受動喫煙防止条例—」

玉井 拙夫（神奈川県衛生研究所）

「福井県におけるがん検診一元化と受診率50%に向けての課題」

松田 一夫（福井県健康管理協会・県民健康センター）

シンポジウム3 15：45-17：45

（奈良県文化会館 国際ホール）

循環器病予防のエビデンスを公衆衛生の現場でどう活用するか

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科
社会環境医学講座公衆衛生学）

田上 豊資（高知県中央東福祉保健所）

演者：「日本人の代表集団および都市部住民における循環器疾患の疫学研究」

岡村 智教（国立循環器病センター予防検診部）

「大阪，秋田研究等からのエビデンスに基づく循環器病予防対策の実践と課題」

北村 明彦（大阪府立健康科学センター）

「家庭血圧のエビデンス：大迫（おおはさま）研究等から」

大久保孝義（東北大学大学院薬学研究科臨床薬学・医薬開発構想寄附講座）

「メタボリックシンドロームと生活習慣病：久山町研究」

土井 康文（九州大学大学院医学研究院病態機能内科学）

公衆衛生行政研修フォーラム2 15:45-17:45

(奈良県文化会館 小ホール)

健やか親子21と次世代育成行動計画の後期を議論する

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

高山 佳洋（大阪府福祉部）

演者：「地域保健は学校保健にどうかかわるか」

平岩 幹男（office21kitatoda, 国立成育医療センター, 日本小児科学会次世代育成プロジェクト委員会）

「健やか親子21の中間評価」

松浦 賢長（福岡県立大学）

「次世代育成支援後期行動計画について」

朝川 知昭（厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課少子化対策企画室）

「健やか親子21」の推進」

宮崎 雅則（厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課）

日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会フォーラム

13:15-14:45（奈良県新公会堂 能楽ホール）

「これから」の健康危機への予防的対応：公衆衛生モニタリング・レポート委員会の活動

座長：原田 規章（公衆衛生モニタリング・レポート委員会, 山口大学医学部衛生学教室）

川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

演者：「社会格差と健康－日本版「健康の社会的決定要因レポート」を目指して」

川上 憲人（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

「これからの食品健康危機の事前対応は可能か－事前対応枠組みの検討－」

佐甲 隆（三重県伊賀保健所）

「青少年の健康に関する危険行動をどう捉え、行動するか」

野津 有司（筑波大学大学院人間総合科学研究科）

「胎児, 小児の発達・発育への環境リスクをどのように評価して行動するか」

香山不二雄（自治医科大学地域医療学センター環境医学部門）

教育講演3 9:00-10:00

(奈良県文化会館 小ホール)

QOLの測定と評価

演者：下妻晃二郎（立命館大学総合理工学院生命科学部生命医科学科）

座長：渡邊 能行（京都府立医科大学大学院地域保健医療疫学）

教育講演4 9:00-10:00

(奈良県新公会堂 能楽ホール)

ひきこもり・薬物乱用など思春期・青年期の精神保健と相談支援

演者：衣笠 隆幸（広島市精神保健福祉センター）

座長：山下 俊幸（京都市こころの健康増進センター）

ランチョンセミナー3 12:20-13:10

(奈良県文化会館 小ホール)

生活習慣病と睡眠時無呼吸症候群

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座公衆衛生学）

演者：木村 弘（奈良県立医科大学内科学第二講座（呼吸器・血液内科））

〔フクダ電子株式会社, フクダ電子南近畿販売株式会社, フクダライフテック南近畿株式会社〕

ランチョンセミナー4 12:20-13:10

(奈良県文化会館 多目的室)

口腔ケアに必携!「つまようじ法」でのブラッシングを体験してみませんか!

座長：森田 学（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野）

演者：「要介護者の口腔ケアと特定保健指導におけるつまようじ法の実践」

木村 年秀（三豊総合病院歯科保健センター）

「訪問口腔ケアにおけるつまようじ法の実践」

小畑 文也（小畑歯科医院）

〔株式会社ピー・エム・ジェー〕

ランチョンセミナー5 12:20-13:10

(奈良県新公会堂 会議室1・2)

たばこ対策と公衆衛生

座長：高橋 裕子（奈良女子大学保健管理センター）

演者：大井田 隆（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

〔ファイザー株式会社〕

ランチョンセミナー6 12:20-13:10

(奈良県新公会堂 会議室3)

口腔機能測定器「健口くん」によるオーラルディアドコネシス測定

座長：山田 智子（財団法人新潟県歯科保健協会事務局）

演者：伊藤加代子（新潟大学医歯学総合病院加齢歯科診療室）

〔竹井機器工業株式会社〕

【第3日 2009年10月23日（金）】

サテライトシンポジウム5 10:30-12:30

(奈良県文化会館 小ホール)

保健師は社会の新しい課題に立ち向かう

座長：村嶋 幸代（東京大学大学院医学系研究科地域看護学，公衆衛生看護のあり方に関する委員会）

瀬川 恵子（奈良県天理市健康推進課）

演者：「公衆衛生を担う保健師 ～公衆衛生看護のあり方委員会の見解を基にして～」

平野かよ子（東北大学大学院医学系研究科国際看護管理学）

「大阪市西成区あいりん地域における単身高齢者への支援の取り組み」

岸本ゆき江（大阪市西成区保健福祉センター）

「これからの保健活動と保健師への期待～地域保健対策の基本指針改定をめざし考える～」

澁谷いづみ（愛知県半田保健所，全国保健所長会）

「保健師の質を保証する教育のあり方」

佐伯 和子（北海道大学大学院保健科学研究院）

シンポジウム4 8:30-10:30

(奈良県文化会館 小ホール)

健康づくりのエビデンスをコミュニケーションで実践につなぐ

座長：中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）

杉森 裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科）

演者：「ヘルスコミュニケーションの手法を用い

たがん予防の試み」

山本精一郎（国立がんセンターがん対策情報センター）

「エビデンスに基づくガイドラインは予防対策を改善する：骨折・骨粗鬆症対策の場合」

梶田 悦子（名古屋大学医学部保健学科地域在宅看護学）

「心が動くと人は動き出す～京浜急行電鉄株の保健事業の取り組みから～」

松本 秀子（健生株式会社健康支援課）

「ヘルスコミュニケーションの可能性：エモーションとエビデンスをつなぐ」

西根 英一（株式会社マッキンヘルスケアワールドワイドジャパン）

シンポジウム5 8:30-10:30

(奈良県新公会堂 能楽ホール)

社会医学系学会は社会にどのように貢献すべきか

座長：中村 好一（自治医科大学公衆衛生学教室）

宇田 英典（鹿児島県鹿屋保健所）

演者：「公衆衛生に関わる学会の社会における役割」

小林 廉毅（日本公衆衛生学会）

「日本衛生学会のめざす社会貢献」

小泉 昭夫（日本衛生学会）

「社会医学系学会は社会にどのように貢献すべきか ―日本産業衛生学会―」

大前 和幸（日本産業衛生学会）

「日本疫学会の社会貢献」

辻 一郎（日本疫学会）

公衆衛生行政研修フォーラム3 8:30-10:30

(奈良県文化会館 国際ホール)

特定健診・特定保健指導の一年を評価する

座長：水嶋 春朔（横浜市立大学大学院医学研究科情報システム予防医学）

津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター）

演者：「特定健診・特定保健指導の一年を評価する」

木村 博継（厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室）

「青森市の特定健診・特定保健指導の実践～現場の実践を共有し地域でつくる実施体制～」

種市 靖子（青森市健康福祉部青森市保健所健康づくり推進課）

「全国健康保険協会における特定健診・特

定保健指導」

六路 恵子（全国健康保険協会長野支部・保健サービスグループ）

「トヨタ自動車健康保険組合における保健事業の考え方と特定健診・特定保健指導」

近藤 秀成（トヨタ自動車健康保険組合）

公衆衛生行政研修フォーラム4 10:30-12:30

（奈良県文化会館 国際ホール）

健康日本21最終年を控えて今後の課題を明らかにする

座長：柳川 洋（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

渡辺 晃紀（栃木県南健康福祉センター健康対策課）

演者：「健康日本21地方計画の課題と今後」

尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

「疫学的エビデンスの活用と意義」

三浦 克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門）

「栄養・食生活面の現状と課題」

森田 明美（国立健康・栄養研究所栄養疫学プログラム）

「身体活動・運動面の現状と課題」

荒尾 孝（早稲田大学スポーツ科学学術院運動疫学研究室）

教育協議会フォーラム 10:30-12:30

（奈良県新公会堂 能楽ホール）

地域医療教育の充実に衛生学・公衆衛生学はどのようにかかわるべきか

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

演者：「「地域医療」に関する教育の実態調査結果から」

安田 誠史（高知大学医学部公衆衛生学教室）

「地方国立大学法人における取り組みの実態について」

藤田 委由（島根大学医学部環境保健医学講座公衆衛生学）

「人材育成の視点から—どのような公衆衛生学教育が医学教育に求められているのか？」

高野 健人（東京医科歯科大学大学院健康推進医学）

日本学術会議臨床医学委員会/健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会・日本公衆衛生学会共催シンポジウム

13:30-16:00（奈良県文化会館 小ホール）

公衆衛生活動における健康価値創造

座長：森本 兼曩（大阪大学大学院医学系研究科環境医学）

松澤 佑次（財団法人住友病院）

演者：「幼少期が決めるライフスタイル」

児玉 浩子（帝京大学医学部小児科学教室）

「障害・病と健康の質」

正木 治恵（千葉大学大学院看護学研究科）

「睡眠障害と Quality-of-Life」

大川 匡子（滋賀医科大学）

「環境へのアプローチによるライフスタイルの変容—ストレスと身体活動」

下光 輝一（東京医科大学公衆衛生学講座）

「健康栄養実践と公衆衛生活動」

徳留 信寛（独立行政法人国立健康・栄養研究所）

「健康価値を創造するライフスタイル 看護職の立場からのコメント」

金川 克子（神戸市看護大学）

コメント：梅村 聡（民主党参議院議員）

おわりに：松澤 佑次（財団法人住友病院）

県民公開講座1 13:30-15:20

（奈良県新公会堂 能楽ホール）

地域の救急医療を守る—地域における、地域全員による、地域を守るための救急医療を実現するために—

座長：篠崎 英夫（国立保健医療科学院）

演者：「ディスカッションのはじめに」

篠崎 英夫（国立保健医療科学院）

「日本の救急医療の現状と課題について」

小濱 啓次（川崎医療福祉大学、川崎医科大学）

「奈良における救急医療の現状について」

斎藤 能彦（奈良県立医科大学第一内科学）

「奈良県における救急医療に対する取り組みについて」

武末 文男（奈良県福祉部健康安全局）

「奈良県における救急医療の視覚化「医療濃度」に基づいた救急医療計画について」

青木 則明（NPO 法人 CHORD-J, テキサス大学）

県民公開講座2 15:30-16:30
 (奈良県新公会堂 能楽ホール)
 新型インフルエンザに立ち向かう
 座長: 高木 正博 (奈良県葛城保健所)
 演者: 三笠 桂一 (奈良県立医科大学附属病院感
 染症センター, 大学院医学研
 究科感染病態制御医学)

公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー 13:
 30-17:30
 (奈良県文化会館 集会室A・B)
 保健から福祉活動のコーディネーション
 コーディネーションを進めるためのコミュニケーシ
 ョン能力
 演者: 水野 良也 (琉球大学)

保健分野の企画, 調整, 実行
 コーディネータ: 村嶋 幸代 (東京大学)
 ケースレポート: 原田 小夜 (滋賀県南部健康福
 祉事務所健康衛生
 課)
 コーディネータ: 田中 久子 (女子栄養大学)
 ケースレポート: 稲川三枝子 (茨城県築西市健康
 づくり課)
 介護分野の企画, 調整, 実行
 コーディネータ: 渡辺 裕美 (東洋大学)
 ケースレポート: 田岡 裕子 (社会福祉法人賛育
 会マイホームはる
 み)
 活動評価
 演者: 磯 博康 (大阪大学)

7 一般演題

分科会	テ ー マ	演題数			参考となるキーワード
		口演	示説	計	
1	疫学・保健医療情報	20	29	49	統計情報・疫学研究など
2	ヘルスプロモーション	40	77	117	健康増進・健康日本21・特色ある地域活動事例など
3	生活習慣病	20	40	60	がん・循環器疾患・高血圧・骨粗鬆症など
4	メタボリックシンドローム	35	66	101	特定健診・特定保健指導など
5	保健行動・健康教育	35	89	124	禁煙(たばこ対策)・節酒・身体活動・体力・睡眠・ 健康教育手法など
6	親子保健・学校保健	56	133	189	小児保健・児童虐待・育児支援・すこやか親子21など
7	高齢者のQOLと介護予防	56	138	194	ADL・生きがい・転倒予防・孤独死対策・認知症予 防・閉じこもりなど
8	高齢者の医療と福祉	20	39	59	在宅医療・施設介護・高齢者虐待・終末期医療など
9	地域社会と健康	20	30	50	社会格差・健康格差・ソーシャルキャピタル・市民活 動・NPOなど
10	難病・障害の医療と福祉	20	20	40	特定疾患・在宅医療など
11	精神保健福祉	20	69	89	抑うつ・自殺予防・薬物依存・ひきこもり・メンタル ヘルスなど
12	口腔保健	—	20	20	口腔ケア・う歯・歯周病関連・8020運動など
13	感染症	40	50	90	HIV・性感染症・結核・ウイルス性肝炎・予防接 種・検疫など
14	健康危機管理	35	26	61	災害・SARS・新型インフルエンザ・リスクコミュニ ケーションなど
15	医療制度・医療政策	20	36	56	在宅医療・医療費・医療経済・医療計画・医療安全・ 医療の質など
16	公衆衛生従事者育成	10	47	57	教育・活動支援・専門性など
17	保健所・衛生行政・地域保健	20	50	70	保健所機能・行政課題・地域連携・地域保健・医療研 修など
18	公衆栄養	20	60	80	食育・栄養疫学・食生活指針・食品テロなど
19	食品衛生・薬事衛生	—	10	10	食中毒・食の安全・成分表示など
20	産業保健	—	20	20	
21	環境保健	—	22	22	
22	国際保健	6	30	36	
合 計		493	1,101	1,594	

8 各プログラム参加人数（開始10分目の概数）

会 場	プログラム	演 題 等	参加者概数
10月21日（水）			
国際ホール 奈良県文化会館	学会長講演 記念講演 特別講演 1	アスベスト問題から学ぶ公衆衛生	640名
		万物共生のこころ—奈良・東大寺より—	610名
		健康危機に立ち向かう公衆衛生のちから	350名
	メインシンポジウム 新型インフルエンザシンポジウム 公衆衛生行政研修フォーラム 1	健康をまもる社会基盤の再構築—その糸口はどこか—	370名
			290名
		輸入人畜共通感染症—新たに追加された 4 類感染症に注目する—	60名
	教育講演 1 日本学術会議・日本公衆衛生学会 共催市民公開シンポジウム	食事摂取基準2010—公衆栄養における活用の基礎理論—	150名
		社会格差と健康—公衆衛生の重要課題の対策に向けて—	192名
	集会室 A・B 地衛研フォーラム	麻疹排除（2012年）計画に向けた保健所、地衛研、感染研の果たす役割	57名
新公衆衛生会 奈良県公会堂	能楽ホール 教育講演 2	明日からの地域保健活動に役立つメンタルヘルス—身近な事例や対応を中心に—	60名
	サテライトシンポジウム 1	公衆衛生分野でのリスクコミュニケーション—その方向性を探る—	135名
10月22日（木）			
国際ホール 奈良県文化会館	特別講演 2 サテライトシンポジウム 2 シンポジウム 2 シンポジウム 3	環境政策と公衆衛生—古典を読み現場に学ぶ—	150名
		健康影響が懸念される新たな環境変異を予測する	160名
		がん死亡率20%減少を実現する	220名
		循環器病予防のエビデンスを公衆衛生の現場でどう活用するか	300名
	小ホール シンポジウム 1 サテライトシンポジウム 4 教育講演 3	難病患者を地域で支える医療・保健・福祉を強化する	120名
		社会を支える高齢者の能力と役割	170名
		QOL の測定と評価	220名
	集会室 A・B 能楽ホール	公衆衛生行政研修フォーラム 2 奨励賞受賞講演	80名 90名
		パネルディスカッション 教育講演 4	180名 110名
		サテライトシンポジウム 3	150名
奈良県新公会堂	日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会フォーラム	「これから」の健康危機への予防的対応：公衆衛生モニタリング・レポート委員会の活動	165名
10月23日（金）			
国際ホール 奈良県文化会館	公衆衛生行政研修フォーラム 3 公衆衛生行政研修フォーラム 4 シンポジウム 4	特定健診・特定保健指導の一年を評価する	250名
		健康日本21最終年を控えて今後の課題を明らかにする	270名
		健康づくりのエビデンスをコミュニケーションで実践につなぐ	200名
	サテライトシンポジウム 5 日本学術会議臨床医学委員会/健康・生活科学委員会 合同生活習慣病対策分科会・日本公衆衛生学会共催シンポジウム	保健師は社会の新しい課題に立ち向かう	300名
		公衆衛生活動における健康価値創造	230名
	集会室 A・B 公衆衛生活動の遂行能力向上セミナー	保健から福祉活動のコーディネーション	50名
奈良県新公会堂	能楽ホール シンポジウム 5 教育協議会フォーラム	社会医学系学会は社会にどのように貢献すべきか 地域医療教育の充実に衛生学・公衆衛生学はどのようにかかわるべきか	40名 25名
	県民公開講座 1	地域の救急医療を守る—地域における、地域全員による、地域を守るための救急医療を実現するために—	75名
	県民公開講座 2	新型インフルエンザに立ち向かう	95名

9 自由集会

	集 会 名	会 場	参加者数
10月21日（水）			
1	新しい介護予防を考える集い 奈良県文化会館	奈良県文化会館 集会室 A・B	30名
2	第12回レセプト情報の活用を考える自由集会	奈良県文化会館 第1会議室	40名
3	共感・共生のパワーを活用するコミュニティ・エンパワメント	奈良県文化会館 第3会議室	29名
4	“地域の力”（ソーシャル・キャピタル）と健康 —最新の知見と実際の保健医療行政への応用—	奈良県文化会館 多目的室	20名
5	結核の集団発生の対策に関する自由集会 奈良県新公会堂	奈良県新公会堂 能楽ホール	95名
6	知ろう・語ろう・考えよう！ “一步先行く” 健やか親子21 第9回	奈良県新公会堂 会議室 1・2	37名
7	非正規雇用の健康影響	奈良県新公会堂 会議室 3	20名
8	前向き子育てプログラマーその理論と実践	奈良県新公会堂 会議室 4	15名
9	健康を守る社会基盤の再構築と保健師（PHN）の役割・展望	奈良商工会議所 大ホール	100名
10	「健康づくりと運動」自由集会	奈良商工会議所 中ホール	31名
11	離島における保健看護活動—情報と意見の交換から連携を目指す	奈良商工会議所 小ホール	17名
12	第2回「法医公衆衛生学研究会」—絶対的アウトカムである「死」から学ぶ—	奈良商工会議所 301会議室	18名
13	健康生成論とストレス対処能力概念 SOC の学習・交流会 奈良市ならまちセンター	奈良市ならまちセンター	25名
14	健康危機管理時の栄養及び食生活の支援について 国際奈良学セミナーハウス	国際奈良学セミナーハウス 研修室	21名
15	全国いきいき公衆衛生の会 奈良女子大学	奈良女子大学 N101	76名
16	地域で進めるたばこ対策～未成年，妊産婦等次世代領域を中心に～	奈良女子大学 N201	中止
17	KK オフ会～禁煙支援をさらに楽しくするミーティング	奈良女子大学 N202	26名
18	全国衛生行政研究会セミナー	奈良女子大学 E107	21名
19	公衆衛生における GIS（地理情報システム）の活用と展望	奈良女子大学 E218-1	21名
20	市町村保健センターを語ろう—あなたの保健センターは住民のしゃべり場ですか？—	奈良女子大学 E218-2	7名
21	「思春期ピア」は当事者かサポーターか？思春期ヘルスプロモーションを考える	奈良女子大学 N301	7名
10月22日（木）			
22	『生きるための心の教育（性教育）』を用いた性問題予防地域システム 奈良県文化会館	奈良県文化会館 小ホール	50名
23	「住まいと健康」フォーラム	奈良県文化会館 集会室 A・B	19名
24	HIV 感染者が安心して就労できるために～さらに一步進んだ支援の再構築～	奈良県文化会館 第1会議室	10名
25	感染症情報の現状と展望を考える会	奈良県文化会館 第3会議室	40名
26	新型インフルエンザ対策について考える	奈良県文化会館 多目的室	60名
27	第18回多胎児を産み育てる家族への保健サービスを考える集会 奈良県新公会堂	奈良県新公会堂 会議室 3	27名
28	第18回多胎児を産み育てる家族への保健サービスを考える集会	奈良県新公会堂 会議室 1・2	82名
29	第2回公衆衛生・公衆栄養分野における管理栄養士の活動を考える会	奈良県新公会堂 会議室 4	28名
30	ジョン・スノウの会 奈良商工会議所	奈良商工会議所 大ホール	27名
31	喫煙対策自由集会	奈良商工会議所 中ホール	30名
32	「赤ちゃんにおむつはいらない—失われた身体技法を求めて」	奈良商工会議所 小ホール	35名
33	地域保健における理学療法士，作業療法士との連携のあり方～地域支援事業を中心に～ 奈良女子大学	奈良女子大学 大学会館 大集会室	25名
34	「ALS 患者の暮らし・医療・いのちを考える」集い	奈良女子大学 N101	155名
35	公衆衛生と危機管理 第6回 新型インフルエンザ対応でのインシデントコマンドシステムの活用	奈良女子大学 N201	15名
36	高齢者の低栄養を地域の健康課題として考える集い	奈良女子大学 N202	70名
37	Evidence-based non-smoking セミナー 禁煙のエビデンスを正しく評価する目を養おう	奈良女子大学 E107	44名
38	これからの地域保健活動を語ろう～地域の新たな発見手法～	奈良女子大学 E218-1	24名

10 ブース

(1) 紹介ブース (一般ブース)

番号	ブース名
1	財団法人結核予防会結核研究所
2	地域がん登録全国協議会
3	社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
4	国立がんセンターがん予防・検診研究センター
5	NPO 法人日本介助犬アカデミー
6	社団法人元気クラブいなべ
7	日本健康教育学会
8	全国保健師教育機関協議会
9	独立行政法人国立環境研究所
10	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻(公衆衛生大学院)
11	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
12	株式会社プリメドジャパン
13	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻地域看護学分野
14	特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター
15	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
16	大分県立看護科学大学
17	日本疫学会
18	財団法人放射線影響研究所
19	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野
20	前向き子育てプログラム
21	国立保健医療科学院

(2) 紹介ブース (企画ブース)

番号	ブース名
1	奈良市保健所
2	北海道名寄保健所
3	大阪府庁
4	あいち小児保健医療総合センター
5	メディカル・ウェルネス・コミュニケーション協会
6	特定非営利活動法人日本健康教育士養成機構
7	財団法人健康・体力づくり事業財団

(3) 企業展示

番号	小間タイプ	企業名
1	機器	アース製薬株式会社
2		杏林製薬株式会社
3		花王株式会社
4		花王株式会社
5		ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
6		東ソー株式会社
7		株式会社バイオスペース
8		三洋電機株式会社
9		旭化成ライフサポート株式会社
10		フクダ電子株式会社・フクダ電子南近畿販売株式会社・フクダライフテック南近畿株式会社
11		シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社・日産化学工業株式会社
12		竹井機器工業株式会社
13		NTT アイティ株式会社
14		株式会社日本ビーシージーサプライ
15		株式会社マッシュルームソフト
16		株式会社スズケン
17		株式会社スズケン
18		株式会社いわさき
19		ソニーブロードバンドソリューション株式会社
20		株式会社ヤマト
21		株式会社アイン
22		株式会社ピー・エム・ジェー
23		持田ヘルスケア株式会社
24		株式会社河野エムイー研究所
25		株式会社メルシー
26		株式会社VIP グローバル
27	書籍	日本ビクター特約店東海ビジョン株式会社
28		株式会社夢工房
29		社団法人日本家族計画協会
30		株式会社東京法規出版
31		株式会社栗田書店
32		有限会社ラウンドフラット
33		株式会社ニホン・ミック
34		大和リース株式会社
35		株式会社健康日本総合研究所
36		株式会社労働調査会
37		株式会社バイオ・ラボ
38		株式会社社会保険出版社

(4) 提供

番号	提供内容	企業名
1	飲料	社団法人日本乳業協会
2	物品	NTT コミュニケーションズ株式会社

11 付随行事

行 事 名	日 程		会 場	
	月 日	時 間		
【関連行事】				
日本公衆衛生学会理事会	10月20日(火)	10:00～12:00	奈良県文化会館	集会室 A・B
日本公衆衛生学会評議員会	10月20日(火)	13:00～14:30	奈良県文化会館	小ホール
日本公衆衛生雑誌拡大編集委員会	10月22日(木)	12:10～13:20	奈良県文化会館	集会室 A・B
自由集会	10月21日(水)	18:15～20:15	奈良県文化会館, 奈良県新公会堂, 奈良商工会議所会館, 奈良市ならまちセンター, 国際奈良学セミナーハウス, 奈良女子大学	
	10月22日(水)	18:15～20:15		
【付随行事】				
衛生学公衆衛生学教育協議会	10月20日(火)	15:00～18:00	奈良県文化会館	小ホール
全国衛生部長会議				
世話人会	10月20日(火)	11:00～13:00	ホテル日航奈良	
総会	10月20日(火)	13:00～17:00	ホテル日航奈良	
意見交換会	10月20日(火)	17:15～19:15	ホテル日航奈良	
全国保健所所長会政令市部会総会	10月19日(月)	10:00～12:00	ホテル日航奈良	
全国政令市衛生部局長会総会				
総会	10月19日(月)	14:00～16:30	ホテル日航奈良	
会長表彰式	10月19日(月)	16:30～18:00	ホテル日航奈良	
懇親会	10月19日(月)	18:00～	ホテル日航奈良	
全国保健所長会第66回総会				
第66回総会	10月20日(火)	10:00～12:30	奈良ロイヤルホテル	
研究事業報告	10月20日(火)	13:25～14:25	奈良ロイヤルホテル	
会員協議	10月20日(火)	14:30～17:00	奈良ロイヤルホテル	
意見交換会	10月20日(火)	17:30～19:30	奈良ロイヤルホテル	
地方衛生研究所全国協議会				
総会	10月20日(火)	13:30～16:30	ホテル日航奈良	
意見交換会	10月20日(火)	17:15～19:15	ホテル日航奈良	
全国精神保健福祉センター長会 同研究協議会				
理事会	10月20日(火)	11:00～12:00	春日野荘	
センター長会議	10月20日(火)	13:00～14:45	春日野荘	
研究協議会	10月20日(火)	14:55～17:00	春日野荘	
意見交換会	10月20日(火)	18:00～19:30	春日野荘	
研究協議会	10月21日(水)	8:50～15:30	春日野荘	
全国保健統計協議会				
役員会	10月20日(火)	10:00～13:00	ホテル日航奈良	
総会	10月20日(火)	13:00～16:30	ホテル日航奈良	
全国保健師教育機関協議会				
理事会	10月19日(月)	15:00～18:00	サンホテル奈良	1階会議室
施設管理者部会	10月20日(火)	13:00～14:30	奈良県新公会堂	会議室 3
教育担当者部会	10月20日(火)	13:00～14:30	奈良県新公会堂	能楽ホール
総会	10月20日(火)	15:00～17:30	奈良県新公会堂	能楽ホール
懇親会	10月20日(火)	18:00～20:00	猿沢荘	

12 アンケート

第68回 日本公衆衛生学会総会 ～参加者アンケート調査（喫煙）集計結果～

(1) 性別・年齢階級別にみた喫煙状況

男性 喫煙状況	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	不明	合計
以前から（ほとんど）吸わない	35 79.5%	84 73.0%	113 69.8%	108 55.7%	48 55.8%	5 50.0%	5 50.0%	398 64.1%
以前は吸っていたが今は吸わない	7 15.9%	21 18.3%	38 23.5%	77 39.7%	33 38.4%	5 50.0%	4 40.0%	185 29.8%
現在喫煙している	2 4.5%	9 7.8%	8 4.9%	7 3.6%	4 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	30 4.8%
無 回 答	0 0.0%	1 0.9%	3 1.9%	2 1.0%	1 1.2%	0 0.0%	1 10.0%	8 1.3%
合 計	44 100%	115 100%	162 100%	194 100%	86 100%	10 100%	10 100%	621 100%

女性 喫煙状況	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	不明	合計
以前から（ほとんど）吸わない	168 91.8%	237 91.9%	270 95.7%	196 90.3%	53 94.6%	7 77.8%	20 90.9%	951 92.6%
以前は吸っていたが今は吸わない	11 6.0%	15 5.8%	11 3.9%	13 6.0%	2 3.6%	2 22.2%	1 4.5%	55 5.4%
現在喫煙している	2 1.1%	4 1.6%	1 0.4%	2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 0.9%
無 回 答	2 1.1%	2 0.8%	0 0.0%	6 2.8%	1 1.8%	0 0.0%	1 4.5%	12 1.2%
合 計	183 100%	258 100%	282 100%	217 100%	56 100%	9 100%	22 100%	1,027 100%

(2) 性別・年齢階級別にみた1日平均喫煙本数

男性 喫煙本数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
1～5本	2 22.2%	3 13.6%	3 10.7%	1 1.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	10 7.4%
6～10本	3 33.3%	5 22.7%	9 32.1%	13 23.6%	5 22.7%	0 0.0%	1 33.3%	36 25.7%
11～15本	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	3 5.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 5.1%
16～20本	2 22.2%	11 50.0%	14 50.0%	32 58.2%	12 54.5%	0 0.0%	1 33.3%	72 52.2%
21～25本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
26～30本	0 0.0%	1 4.5%	1 3.6%	5 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 6.6%
31～35本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
36～40本	2 22.2%	0 0.0%	1 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	5 2.9%
41本以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不 明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合 計	9 100%	22 100%	28 100%	55 100%	22 100%	0 100%	3 100%	139 100%
女性 喫煙本数	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
1～5本	7 63.6%	2 20.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0	11 30.6%
6～10本	1 9.1%	2 20.0%	3 100.0%	4 44.4%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	12 33.3%
11～15本	1 9.1%	3 30.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 13.9%
16～20本	2 18.2%	3 30.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 22.2%
21～25本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
26～30本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
31～35本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
36～40本	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
41本以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
不 明	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合 計	11 100%	10 100%	3 100%	9 100%	1 100%	1 100%	1 100%	36 100%

13 最優秀演題 (10題)・優秀演題賞 (90題)

最優秀演題		
P0302-15	入江ふじこほか	基本健康診査受診者における推算糸球体濾過量 (eGFR) と循環器疾患死亡との関連
O0701-4	遠又 靖丈ほか	要介護認定に対する基本チェックリストの予測妥当性の検証：大崎コホート2006研究
O0901-2	近藤 尚己ほか	結束型/橋渡し型ソーシャルキャピタル・無尽講と高齢者の介護状態：Y-HALE コホート
P1107-61	小山明日香ほか	地域疫学調査による「ひきこもり」の実態と精神障害の関連について
P1303-27	鈴木 まきほか	三重県伊勢志摩地域における日本紅斑熱の発生状況
O1307-32	高岡 道雄ほか	新型インフルエンザ対策に係る高校生等集団への予防投薬の実施
O1503-15	佐々木 諭ほか	GIS による救急隊の最適配置分析と将来需要推定
P1501-3	叶 兆嘉ほか	全傷病登録レセプトによる糖尿病の合併症の医療費分析
P2102-14	島 正之ほか	北京における大気汚染が住民の肺機能に与える短期的影響
P2202-19	Keoprasith Bounserth ほか	ラオス北部における地域言語 (local tongue) による住民相互健康教育プログラムの評価
優秀演題		
O0101-2	岡山 明子ほか	季節性インフルエンザ薬剤耐性ウイルスの発生状況
P0101-9	板井 一好ほか	人工透析患者の血清中ホウ素濃度と死亡率との関連について
P0103-27	中木 良彦ほか	北海道内の産婦人科および小児科医師数の減少が死亡率に及ぼす影響について
P0101-7	西木由起子ほか	血圧治療状況と左室肥大 一般住民集団を対象とした心エコー検査における検討
O0103-12	荻野 大助ほか	受療行動調査を用いた医療評価について—外来患者の時間分析—
O0207-32	藤井 紘子ほか	草加市27カ月間ヘルスアッププログラム (その1) —長期介入効果の検討—
O0208-38	畑口 理恵ほか	働き盛り世代の健康づくり (第3報) ～事業所給食施設における栄養管理の実施状況～
P0302-12	章 ぶんほか	食事によるマグネシウムの摂取と循環器疾患死亡との関連 JACC study
O0301-2	斉藤 功ほか	ウエスト周囲径レベルと循環器疾患発症との関連：大洲コホート I 研究
P0304-33	石川ひろのほか	糖尿病患者のヘルスリテラシーとセルフケア
O0303-13	西脇 祐司ほか	脊柱後弯により高齢者の「痩せ」は誤分類される—倉渕高齢者コホートより—
P0402-16	石田 裕美ほか	社員食堂を活用した減量プログラムの評価
P0406-53	今井 博久ほか	内臓脂肪症候群に対する包括的な保健指導の評価
O0405-21	村上 義孝ほか	5年間追跡データによる特定保健指導の医療費適正化効果の試算1：試算ツールの開発
O0404-17	佐藤 賢太ほか	介入終了1年後の個別健康支援プログラムによる改善効果の持続
O0401-5	久保田和子ほか	特定健診未受診者4,840名の未受診理由と健康意識：岩手県花巻市における調査より
P0403-26	今任 拓也ほか	メタボリックシンドロームと早食い
O0407-31	岡本 尚子ほか	男性勤務者のための IT を活用した減量プログラムの効果：無作為化比較試験
P0501-6	渡辺 裕一ほか	大学生喫煙者のニコチン依存度と禁煙意思
O0503-12	吉野 勝治ほか	一般成人における毛髪中のニコチン代謝物分析の検討

P0509-90	吉川 卓司	呼吸胸郭運動の加齢に伴う変化の検討
P0507-69	甲斐 裕子ほか	行動変容技法を用いた習慣改善プログラムが健康行動に関する自己効力感に及ぼす影響
P0509-85	真鍋 舞子ほか	徳島県の高校生の糖尿病に関する知識と生活習慣—身近な糖尿病患者の存在が及ぼす影響—
P0503-29	吉見 逸郎ほか	地域における小児の受動喫煙曝露の実態について
P0508-80	長谷川秀隆ほか	女子大学生の骨密度と生活習慣に関する研究
P0503-30	鈴木 史明ほか	妊婦の喫煙および受動喫煙に関する実態調査（第2報）
P0609-80	丹 佳子	幼稚園児の保護者に配布した小児救急パンフレットの保管率と印象
O0606-30	前田由美子ほか	奈良市における発達支援の取り組み
P0607-61	高島 綾子ほか	A市における低出生体重児のキャッチアップ時期
O0611-53	高島 樹子ほか	こどもの救急医療かかり方事業について
P0609-82	森田 一三ほか	小学校の休憩時間中における負傷が入院となる要因分析研究
O0605-25	相崎扶友美ほか	早期乳幼児期の麻疹ワクチン接種率に関連する要因—埼玉県70市町村の分析から
O0604-21	藤井 琴弓ほか	学童期生活習慣病対策事業について—平成20年度愛知県碧南市の取り組み—
P0604-34	尾崎 倫子ほか	羽曳野市における乳児早期からの家庭訪問による子育て支援 その3
O0602-8	田中 久美ほか	EPDS の導入・活用—EPDS の区分点と愛着障害に関する新たな着眼点—
P0601-8	藤井 千恵ほか	児童生徒と両親の生活習慣病危険因子の相関に関する研究
O0610-51	小林 恵子ほか	子ども虐待事例の家族生活力量と保健師のケア実施後の変化
P0709-84	竹田 徳則ほか	コホート研究による地域高齢者の認知症発症と趣味内容との関連：AGES プロジェクト
O0710-47	清水 暢子ほか	鳴子を使用した音楽療法（Movement Music Therapy）の効果
P0713-127	牧迫飛雄馬ほか	後期高齢者の運動機能と3年後の生活機能低下との関係
O0706-26	山本千紗子ほか	東京都A市在宅高齢者の生存関連要因：知的能動性と6年間追跡生存状況との関連から
O0707-33	熊谷 修ほか	地域高齢者の栄養状態改善のための介入が総死亡リスクに及ぼす影響
O0704-20	原口由紀子ほか	地域高齢者を対象とした小地域型介護予防事業の参加者の特徴
P0707-63	中山(増井)幸恵ほか	地域在住超高齢者における視聴覚機能と健康関連 QOL・抑うつ状態との関連性
P0710-91	能登 真一ほか	要介護高齢者に対する作業療法の効果の研究—多施設間ランダム化比較試験—
P0712-112	曾根 稔雅ほか	日常生活での役割と要介護認定等の状況との関連—継続的評価分析支援事業より—
P0705-49	星 旦二ほか	都市在宅高齢者の健康三要因である精神身体社会の三年後の経年変化とその因果関係
P0709-86	渡邊 智之ほか	映像記録型ドライブレコーダーを用いた認知症患者の日常運転特性の検討
O0803-12	羽山 広文ほか	住環境が死亡原因に与える影響 その1 気象条件・死亡場所と死亡率の関係
P0803-21	沢村 香苗ほか	介護老人福祉施設における職員の業務量の検討—ユニット型施設と従来型施設の比較—
P0902-11	相田 潤ほか	個人レベルのソーシャルキャピタルと死亡の関連—AGES 前向きコホート研究
P0903-26	渡邊 功ほか	定時制高校における喫煙状況調査及び防煙・禁煙支援の試み
O0904-16	文 鐘聲	在日コリアン要介護高齢者における識字能力と心身の健康度

P0901-1	埴淵 知哉ほか	東アジアにおける健康と社会経済的地位の関連—日本・韓国・中国・台湾の比較—
P1002-14	土井由利子ほか	進行性核上麻痺による死亡の地域集積性に関する検討
P1002-20	井戸 正利ほか	パーキンソン病医療受給者への脳血管疾患等の混入の可能性について（第1報）
O1004-17	久地井寿哉ほか	全国 HIV 感染者の社会的自立に向けた実態と障害者手帳の利用・障害開示意向の分析
O1103-14	渡井いずみほか	働く母親のメンタルヘルス—シングルマザーと共働きの母親との比較を中心に—
P1101-5	藤田 利治ほか	自殺死亡の地域統計
P1107-67	角野 文彦ほか	司法精神医療における行政機関の役割に関する研究（第4報）
P1104-37	菊池 宏幸ほか	再入院率比からみた保健所における精神科医療中断予防活動の効果分析
P1101-9	藤田 幸司ほか	老年期における喪失経験と抑うつとの関連性に関する検討
P1102-18	畠 今ほか	5年間の追跡調査による地域高齢者の抑うつ状態の発症および持続要因
O1303-11	佐藤 和央ほか	仮眠スペースを有する施設に寝泊りしていた結核患者の状況
O1308-36	田中 誠二ほか	戦後占領期における赤痢の流行
P1301-8	岩下 裕子ほか	インフルエンザ菌 b 型（Hib）予防接種の接種意志に影響を与える要因
O1302-7	邊 千佳ほか	ホームレス結核患者の自己退院に関する検討
P1304-37	近野 睦子ほか	介護老人福祉施設における感染予防の視点を加えたおむつ交換マニュアル協働作成の効果
O1402-9	丘 隆子ほか	新型インフルエンザ医療体制整備における保健所の役割
O1401-3	和田 耕治ほか	新型インフルエンザまん延期における診療継続計画の作成支援ツールの開発
O1403-12	秋吉 京子ほか	神戸市における新型インフルエンザの検査状況について
O1407-33	須藤 紀子ほか	災害時の栄養・食生活支援に関する協定について
P1504-31	河原 和夫ほか	献血者の安全確保対策に配慮した採血基準の拡大とその献血量確保の効果（第1報）
P1502-11	村嶋 幸代ほか	訪問看護ニーズに関する研究（第1報）顕在・潜在ニーズの実態把握と将来推計
O1501-3	児玉 知子ほか	女性医師コホートにおける診療科別の転科、休職、復職状況について
O1602-10	野村 恭子ほか	女性研修医の臨床技能に対する自信度
P1604-38	菅原 京子	明治中・後期の『大日本私立衛生会雑誌』にみる公衆衛生と個人の権利
P1605-45	大倉 美佳	行政機関で働く保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスとその影響要因
P1704-31	石田久美子ほか	脳卒中医療連携における保健所の役割—維持期の連携に向けた取り組みから—
P1704-34	高本佳代子	熊本市 CKD 対策の取り組み（第1報）～病診連携システム構築等プロセス評価～
P1703-22	福島 勉ほか	地域保健における市町村事業の実態と理学療法士、作業療法士の関わり地域包括支援 C
P1705-41	野口 藍子ほか	福岡県における在宅療養者を支える社会資源の分布・機能の比較検討
P1803-22	多門 隆子ほか	「府民が選ぶヘルシーメニュー人気コンテスト」応募メニューの栄養価等の解析（第1報）
P1806-59	由田 克士ほか	24時間思い出し法と比例案分法から得られた食事調査成績の関係と関連する要因の検討
O1801-4	藤田 裕規ほか	納豆摂取による骨密度低下の予防効果～藤原京スタディ男性骨粗鬆症コホート研究～

P1802-18	中出麻紀子ほか	中高年肥満者における減量後の体重変化と食行動との関連
P1806-53	高泉 佳苗ほか	食事バランスガイドの認知が食習慣及び健康状態に及ぼす影響
P1901-4	尾関 尚子ほか	さくらんぼ（缶詰）の赤色104号について
P2001-6	戸ヶ里泰典ほか	若年男性における職業とストレス対処能力 SOC との関連性～1年間の縦断データから
P2101-9	持田 恭	農林水産物などの未利用部位における抗インフルエンザウイルス活性の探求

第68回日本公衆衛生学会総会収支決算書

【収 入】

(単位:円)

科 目	収入済額	備 考
1 負担金収入	12,333,000	
都道府県市分担金	4,833,000	46都道府県, 18政令市 (定額)
公衆衛生学会負担金	3,000,000	日本公衆衛生学会負担金 (定額)
開催地負担金	4,500,000	奈良県3,000千円, 奈良市1,500千円
2 抄録集売上収入	23,875,000	
事前登録	13,877,500	有料入場者数 (事前登録者) 2,167人 { @6,500 } *開催地協力支援者32人 (登録料相当を事後免除扱い)
抄録集送料	680,500	送料の内訳1335件 { @500 }, 13件 { @1,000 }
当日登録	9,317,000	有料入場者数 (当日登録者) 1,331人 { @7,000 }
3 演題申込収入	4,890,000	演題申込件数1,630件 { @3,000 }
4 諸 収 入	10,650,302	
寄付金収入	570,000	寄付金 5 件
共催セミナー	2,435,000	共催セミナー 6 件
広告料収入	472,500	広告 6 件
ブース展示収入	5,658,125	
企業展示	4,725,000	企業展示26件
書籍	473,125	書籍12件
紹介ブース	460,000	紹介ブース21件
助 成 金	1,500,000	日本公衆衛生学会1,000千円, 総合健康推進財団500千円
雑 収 入	14,677	利息, 会場使用料等
5 意見交換会参加費	394,000	参加者197人
合 計	52,142,302	

【支 出】

(単位:円)

科 目	収入済額	備 考
1 事前準備費	15,743,988	
(1) 事務局費	762,510	事務局人件費, 各種事前連絡調整費
(2) 会議費・主催者交通費等	950,272	実行委員会等会議費, 出席者交通費等
(3) 前回大会視察・プロモーション経費	429,410	福岡県開催への関係者視察費用
(4) ホームページ作成費	550,200	第68回学会総会のホームページ作成, 管理費
(5) 演題登録・参加登録関連費	792,141	演題登録・参加登録等の受付システム構築及び管理費
(6) 通信運搬費	771,090	抄録集, ポスター, チラシ等の送料
(7) 印刷・制作費	11,425,365	抄録集, ポスター, チラシ, 運営マニュアル等の作成費
(8) 消耗品費	63,000	消耗品費用
2 当日運営費	23,105,989	
(1) 会場関連費	4,576,680	奈良県文化会館, 新公会堂等の借上料
(2) 当日運営人件費	3,638,775	当日運営に係るスタッフ人件費
(3) 音響・映像関連機材費	6,876,450	開催会場の音響, 映像機材費及びオペレーター費
(4) 看板・展示・備品関連費	5,463,255	看板, 垂れ幕, ポスター等の作成, 設営費
(5) 託児所設営費	267,687	託児所の設営費及び運営費
(6) 運営交通・宿泊・昼食費	1,646,477	スタッフ交通費, 宿泊費及び昼食費
(7) 会議用備品費	636,665	会場内運営費及び事務局備品費等
3 招 請 費	3,128,311	講師謝金, 交通, 宿泊費
4 接遇費等 (事後処理経費含む)	6,029,758	シャトルバス等接遇費, 意見交換会費用及び報告書等事後処理費
5 全体進行管理費	3,639,156	学会総会の準備及び開催に係る業務委託手数料
予備費 (返還金)	495,100	日本公衆衛生学会への返還金
合 計	52,142,302	